



パレストソーラー 施工工程



戸建ての屋根に施工した実際の工程写真とともに、施工工程をご説明します。
※一般的な例としてご覧ください。



施工前



施工後《福岡県F邸 5.5kW》

1、墨出し ……支持金具の取付位置に目印を付けます

工事の最初の工程として、支持金具の取付位置に目印をつける「墨出し」という作業があります。屋根図面を基に「垂木」という丈夫な木材の位置を割り出し、チョークで印を付けます。

パレストソーラーでは、弊社の施工研修を受け「施工ID」を取得した専門の職人が測量と墨出しを何度も確認した上で施工を行います。



2、支持金具取付 ……墨出しをした位置に支持金具を取り付けます

墨出しで付けた目印の位置に穴をあけ、支持金具を取り付けます。穴をあけた際の屑をきれいに取り除き、ネジでしっかりと固定します。この上に架台と呼ばれるスタンドを取り付けパネルを設置しますので、支持金具とは住宅で言うところの基礎のようなものです。

小さい金具ですが、正確に取付を行うことにより、数十年にわたり太陽光パネルを支え続けることができる頑丈な部品です。



3、コーキング ……取り付けした支持金具にコーキングをします

支持金具を取り付けた部分から雨漏りが起こらないように、隙間を埋めるコーキング材を充填していきます。

太陽光パネル設置の施工で最も問題になるのが雨漏りのトラブルですが、パレストソーラーでは施工の際、何度も確認を行います。

(万が一、施工が原因で雨漏りが発生した場合は、弊社にて無償で対応いたします(施工後2年間)。



4、パネル設置① ……リフトでパネルを屋根の上に運びます

屋根の上にパネルを運ぶために足場を組むことが多いようですが、それでは施工費が高くなってしまいうため、このようにリフトなどを使って運びます。

難しい施工の場合は足場を組むこともありますが、基本的には足場を組まずに行うので、施工期間の短縮にもつながります。



5、パネル設置② ……支持金具に沿ってパネルを配置します

支持金具に架台を固定し、パネルを配置していきます。

架台は微調整が可能なものを採用しています。加えて、墨出し時にしっかりと寸法を合わせてありますので、きれいにパネルを配置することができます。

ちなみに、パネルの重量は1枚 20kg前後。慎重に作業を行っていきます。



6、配線 ……パネルをつないでいきます

パネルを配置した後は、それぞれをつないでいきます。

パネルは、太陽の光を受けた時点で発電するのでこの時も電気を帯びていて、知識がなければ大変危険です。ここで発生する電気は直流電力(家庭で使用できない)ですので、パネルをつないだ配線を接続箱経由で束ねてパワーコンディショナに接続し、家庭で使用できる交流電力へと変換します。



7、設置完了 ……家庭の分電盤、売電メーターにつないで完了です

パワーコンディショナから分電盤、そして売電メーターにつなぎ、太陽光発電システムの設置工事は完了です。

なお、売電メーターの設置は管轄の電力会社が行います。

これで、〇〇発電所(〇〇はあなた様のお名前)の稼動がスタートします!



今回の工事については、パネル設置に3名、電気・周辺機器取付工事に2名の作業人数で、施工時間は、休憩1時間半を含めて6時間でした。
プランの打合せや下見など工事までに必要な過程はございますが、通常の工事ではお客様の生活にご不便をおかけすることはないかと思えます。
あなた様も、ご自宅を発電所に見ませんか?

